



## 2020年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年2月10日

上場会社名 株式会社 ハンズマン

上場取引所 東

コード番号 7636 URL <http://www.handsman.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大園 誠司

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長兼経理部長 (氏名) 田上 秀樹

TEL 0986- 38- 0847

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年6月期第2四半期の業績(2019年7月1日～2019年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第2四半期	15,698	0.1	998	2.1	1,113	1.6	763	0.3
2019年6月期第2四半期	15,720	0.1	1,019	3.2	1,131	2.7	765	11.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第2四半期	53.40	
2019年6月期第2四半期	53.47	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第2四半期	18,408	13,305	72.3
2019年6月期	18,022	12,866	71.4

(参考)自己資本 2020年6月期第2四半期 13,305百万円 2019年6月期 12,866百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期		0.00		25.00	25.00
2020年6月期		0.00			
2020年6月期(予想)				25.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年6月期の業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,650	1.4	2,104	1.5	2,333	1.5	1,595	3.6	111.89

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年6月期2Q	14,509,800 株	2019年6月期	14,509,800 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年6月期2Q	210,053 株	2019年6月期	232,353 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年6月期2Q	14,292,147 株	2019年6月期2Q	14,313,832 株
------------	--------------	------------	--------------

(注) E S O P 信託口が保有する当社株式を「1株当たり四半期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する株式に含めております(前第2四半期累計期間183,214株、当第2四半期累計期間204,900株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュフロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における小売業を取り巻く環境は、消費税率の引上げ前に高額品や日用品を中心とする駆け込み需要があったものの、増税後はその反動に加え消費マインドの低下も見られ、また、業態を超えた販売競争も引き続き激しく、厳しい状況で推移いたしました。

このような環境の中、当社はお客様の声をもとにした品揃えの拡充並びに売場改装を推進するとともに、お客様の要望される商品をより早く売場へ導入するためのシステム構築に取り組んでまいりました。また、売場スタッフのコンサルティング販売能力の向上を目的とした商品取扱実技研修会を積極的に開催するなど、より多くのお客様に喜ばれ、お役に立てる施策を実践してまいりました。

その結果、全店ベースの来店客数は前年同期比98.6%、客単価が前年同期比101.2%となり、売上高は前年同期比99.9%の156億98百万円となりました。

利益につきましては、売上総利益率が前年同期比0.2ポイント低下の30.9%となり、売上総利益は前年同期比99.0%の48億46百万円となりました。また、販売費及び一般管理費は前年同期比99.3%の38億48百万円となり、その結果、営業利益は前年同期比97.9%の9億98百万円、経常利益は前年同期比98.4%の11億13百万円、四半期純利益は前年同期比99.7%の7億63百万円となりました。

(注) 当社は営業開始後13ヵ月経過した店舗を既存店、13ヵ月未満の店舗を新店と定義しており、当第2四半期累計期間においては全11店舗が既存店となることから、来店客数・客単価・売上高の各数値は全店(既存店)の数値となります。

部門別の業績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

部門別	前第2四半期累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)		当第2四半期累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)		増減額	前年同期比
	金額	構成比	金額	構成比		
<DIY用品> ホビー・木製品、建材、手工具、電動工具、金物、塗料、接着剤、園芸資材、薬剤 肥料・用土、植物、エクステリア用品、石材	8,550	54.4%	8,534	54.4%	△16	99.8%
<家庭用品> 家庭用品、日用品、インテリア用品、電気 資材用品、収納用品、住宅設備用品、季節 用品	5,042	32.1%	5,032	32.0%	△9	99.8%
<カー・レジャー用品> カー用品、アウトドア用品、ペット用品、 文具	2,127	13.5%	2,131	13.6%	4	100.2%
合計	15,720	100.0%	15,698	100.0%	△22	99.9%

なお、上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ3億86百万円増加の184億8百万円となりました。これは主に建物等の減価償却が進んだことなどにより有形固定資産が1億26百万円減少した一方、商品が3億54百万円、売掛金が87百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ53百万円減少の51億2百万円となりました。これは主に買掛金が6億30百万円増加した一方、長短借入金が2億92百万円、未払法人税等が2億40百万円、その他流動負債が1億54百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ4億39百万円増加の133億5百万円となりました。これは主に剰余金の配当が3億62百万円あった一方、四半期純利益を7億63百万円計上したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ11百万円増加の17億1百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、7億38百万円(前年同期は13億74百万円の獲得)となりました。これは主に法人税等の支払額が5億9百万円、たな卸資産の増加額が3億59百万円となったのに対し、税引前四半期純利益が11億13百万円、仕入債務の増加額が6億30百万円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、66百万円(前年同期は1億12百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が96百万円となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、6億60百万円(前年同期は8億19百万円の使用)となりました。これは主に配当金の支払額が3億62百万円、長期借入金の返済による支出が2億92百万円となったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月期の業績予想につきましては、2019年8月7日に公表いたしました業績予想に変更ありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,690	1,701
売掛金	341	428
商品	5,789	6,143
貯蔵品	29	34
その他	209	255
流動資産合計	8,060	8,564
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	5,185	5,042
土地	1,850	1,922
その他(純額)	961	906
有形固定資産合計	7,997	7,871
無形固定資産		
投資その他の資産	213	223
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	784	779
その他	977	980
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	1,750	1,748
固定資産合計	9,961	9,843
資産合計	18,022	18,408
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,723	2,353
短期借入金	585	560
未払法人税等	553	313
その他	899	744
流動負債合計	3,762	3,972
固定負債		
長期借入金	839	571
資産除去債務	303	306
その他	251	252
固定負債合計	1,393	1,129
負債合計	5,156	5,102
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,057	1,057
資本剰余金	1,086	1,086
利益剰余金	11,025	11,426
自己株式	△295	△260
株主資本合計	12,874	13,309
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△8	△3
評価・換算差額等合計	△8	△3
純資産合計	12,866	13,305
負債純資産合計	18,022	18,408

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)
売上高	15,720	15,698
売上原価	10,827	10,852
売上総利益	4,893	4,846
販売費及び一般管理費	3,873	3,848
営業利益	1,019	998
営業外収益		
受取手数料	78	78
投資不動産賃貸料	53	55
その他	6	5
営業外収益合計	137	138
営業外費用		
支払利息	6	2
投資不動産賃貸費用	18	19
その他	0	0
営業外費用合計	26	23
経常利益	1,131	1,113
特別損失		
固定資産除却損	15	-
特別損失合計	15	-
税引前四半期純利益	1,116	1,113
法人税、住民税及び事業税	296	274
法人税等調整額	54	75
法人税等合計	351	350
四半期純利益	765	763

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	1,116	1,113
減価償却費	240	236
受取利息及び受取配当金	△0	△1
支払利息	6	2
投資不動産賃貸料	△53	△55
投資不動産賃貸費用	18	19
固定資産除却損	15	-
売上債権の増減額(△は増加)	△47	△87
たな卸資産の増減額(△は増加)	△335	△359
仕入債務の増減額(△は減少)	641	630
その他	△262	△252
小計	1,338	1,248
利息及び配当金の受取額	0	1
利息の支払額	△6	△2
法人税等の支払額	-	△509
法人税等の還付額	41	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,374	738
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△128	△96
投資不動産の賃貸による支出	△11	△13
投資不動産の賃貸による収入	53	55
貸付金の回収による収入	4	4
その他	△30	△16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△112	△66
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△150	-
長期借入金の返済による支出	△313	△292
自己株式の取得による支出	△105	△82
自己株式の売却による収入	112	90
リース債務の返済による支出	△1	△14
配当金の支払額	△362	△362
財務活動によるキャッシュ・フロー	△819	△660
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	442	11
現金及び現金同等物の期首残高	1,533	1,690
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,976	1,701



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。